

八雲町郷土資料館農機類標本台帳

一般名称: コーンセラー	現地の通称: 玉蜀黍脱粒機
資料種別: <input checked="" type="radio"/> 製品-実物 <input type="radio"/> 製品-レプリカ <input type="radio"/> 製品-模型 <input type="radio"/> 製品図面 <input type="radio"/> 写真等 <input type="radio"/> 図書掲載 <input type="radio"/> その他	
資料種類: <input checked="" type="checkbox"/> 人力用具 <input type="checkbox"/> 手押し式 <input type="checkbox"/> 耕耘用 <input type="checkbox"/> 調製用 <input type="checkbox"/> 畜力用具 <input type="checkbox"/> 乗用式 <input type="checkbox"/> 施肥播種 <input checked="" type="checkbox"/> 施設類 <input type="checkbox"/> 原動機具 <input type="checkbox"/> 牽引式 <input type="checkbox"/> 管理用 <input type="checkbox"/> 機素 <input type="checkbox"/> トラクタ具 <input checked="" type="checkbox"/> 定置式 <input type="checkbox"/> 収穫用 <input type="checkbox"/> その他	管理プレートNo. <input type="text"/> 台帳No. Y177 相手先番号等 <input type="text"/>
製作者・会社: 定置型: John Deere社製、簡易型2機種: 不明 製造市・国名 USA と 不明 製造年・購入年・標本収集年 JD製品は機体上に1919年特許とあり、その後の市販。	
使用目的・使用方法等	本機Corn Shellerは、定置型1台と簡易型2台がる。これらは飼料用玉蜀黍(デントコーン)の脱粒をする作業機であり、ハンドルを回して脱粒盤を回転させながら、上部投入口から乾燥したコーンを差し込むと脱粒盤上の突起によって子実がはぎ取られ、芯と単粒化した子実が機体外に落下する。通常はこれを粉碎して他の飼料と混合し、家畜用の濃厚飼料とする。 定置型はアメリカJD社製品であり、No.2 Corn Shellerと書かれ、手回し型とベルト駆動型の2通りに使える。一方、簡易型は本体を作業用テーブルに固定して手回しで使う、
利用経過 収集記録 意義等	JD社製品は、1985年の調査であり、2014年調査時に未発見。 経過未調査
仕様書 解説等 右に 全体図	仕様未調査 全体図1: JD社No.2 Corn Shellerは、脱粒板が2組あって倍の能率となるし、送風ファンがあって風選できる。全体図2はカタログ図 関連図1は、1985年撮影の標本の反対面写真 関連図2-3の簡易型は、関連図4(札幌農学校1879年輸入品)に示す定置型と機体サイズが小さくて、小規模農家向けであろう。
外観特色 関連図等	 
資料の 所在	展示場付属倉庫
資料管理 経過	資料追記 事項
作業メモ 追記文	